

大学院 食品栄養 科学専攻 のご案内



食品栄養科学専攻 専攻長
小林 裕和

20世紀の人類の繁栄に起因する飽食文化と高齢化社会の深刻度は、今世紀に入り増大し、改めて「食」の在り方が問われるに至っています。一方、世界的には食糧配分が不均衡であり、食糧供給は世界人口の増大に追いついていません。このような社会情勢を鑑み、本専攻は、食品栄養科学部の大学院として1991年に設置されました。その後日本は、超高齢化社会に突入しました(総人口に占める65歳以上人口の割合が21%を超過)。高齢者が健康で快適な生活を送るために、「食薬融合」研究の一層の社会貢献が望まれます。2012年4月に、食品栄養科学と薬学の両分野の大学院研究科が統合し、「薬食生命科学総合学府」が発足します。引き続き、本専攻は、分子レベルでの研究を通じ「食」を介したヒトの健康に貢献していきます。

学部・大学院 組織



食品生命科学大講座

- 食品機能制御学部門
食品分析化学、ケミカルバイオロジー、食品分子工学、食品化学
- 食品安全解析学部門
有機化学、食品衛生学、微生物学
- 細胞遺伝情報学部門
生物分子工学、植物機能開発、食品蛋白質工学、人類遺伝学

栄養生命科学大講座

- 栄養基礎科学部門
生化学、栄養化学、栄養生理学、生理学
- 人間栄養衛生学部門
公衆衛生学、栄養教育学、臨床栄養学、臨床栄養管理学、フードマネジメント、調理科学
- 専攻協力研究室
公衆栄養学、分子遺伝学、日清製粉グループ寄附講座

大学院連携やインターシップも充実

- ◎静岡県工業技術研究所
- ◎静岡県環境衛生科学研究所
- ◎カリフォルニア大学デーヴィス校、ネブラスカ大学リンカーン校、タイ国マヒドン大学、オハイオ州立大学
- ◎特別インターンシップ I・II (聖隷福祉事業団聖隷浜松病院)
- ◎臨床栄養エキスパート演習(ニュージャージー医科歯科大学医療技術学部)
- ◎(独)国立長寿医療研究センター研究所

薬食生命科学 総合学府の 新設について (平成24年度)

食品栄養科学・環境科学と薬学の両面から健康長寿を捉えることができる高度な専門職業人と研究者を育成するために、平成24年度に大学院生活健康科学研究科と薬学研究科を統合し、「薬食生命科学総合学府」を開設します。

